

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第83期第3四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社ニックス

【英訳名】 NIX, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青木伸一

【本店の所在の場所】 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号

【電話番号】 045-221-2001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼グローバル管理本部長 先本孝志

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番3号

【電話番号】 045-221-2001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼グローバル管理本部長 先本孝志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 会計期間 | 第82期 第3四半期 連結累計期間 | 第83期 第3四半期 連結累計期間 | 第82期 |
|------------------------------|------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| | | 自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日 | 自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日 | 自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日 |
| 売上高 | (千円) | 2,810,680 | 2,602,814 | 3,714,959 |
| 経常利益 | (千円) | 59,068 | 49,305 | 43,909 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 109,954 | 43,843 | 93,093 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 123,312 | 114,325 | 103,338 |
| 純資産額 | (千円) | 2,193,895 | 2,253,770 | 2,173,920 |
| 総資産額 | (千円) | 4,512,660 | 4,405,846 | 4,322,551 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | 47.84 | 19.08 | 40.50 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 48.6 | 51.2 | 50.3 |

| 回次 | 会計期間 | 第82期 第3四半期 連結会計期間 | 第83期 第3四半期 連結会計期間 |
|--------------------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() | (円) | 7.87 | 1.58 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第83期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第82期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
5. 第82期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、平成24年8月20日に設立登記を完了いたしました連結子会社の「NIX TRADING (THAILAND) LTD.」は平成24年10月1日に操業を開始しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政権交代による円高の是正や株価の上昇など経済回復への期待感から全体として回復基調の兆しにありました。しかしながら、欧州景気の低迷や新興国の経済成長鈍化などの懸念事項もあり、実体経済としては依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,602,814千円（前年同四半期比207,866千円減）となりました。利益面につきましては、売上減による売上総利益の減少により経常利益は49,305千円（前年同四半期比9,763千円減）、四半期純利益は43,843千円（前年同四半期比66,111千円減）となりました。

（2）財政状況の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ83,294千円増の4,405,846千円となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が54,804千円増加したこと等により1,918,264千円となりました。固定資産は建物及び構築物が35,191千円減少したこと等により2,487,581千円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ3,444千円増の2,152,075千円となりました。流動負債は支払手形及び買掛金が15,074千円減少したものの、1年内償還予定の社債が48,000千円増加したことにより1,051,244千円となりました。固定負債は社債が71,000千円増加したものの、長期借入金が102,012千円減少したことにより1,100,830千円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ79,850千円増の2,253,770千円となりました。株主資本合計は利益剰余金が9,367千円増加したことにより2,206,314千円となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は130,400千円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 6,400,000 |
| 計 | 6,400,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|--------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 2,298,500 | 2,298,500 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株であります |
| 計 | 2,298,500 | 2,298,500 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年4月1日～ 平成25年 6月30日 | | 2,298 | | 460,421 | | 380,421 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 100 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 2,298,100 | 22,981 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 300 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 2,298,500 | | |
| 総株主の議決権 | | 22,981 | |

- (注) 1 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|---|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ニックス | 神奈川県横浜市西区 みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB8F | 100 | | 100 | 0 |
| 計 | | 100 | | 100 | 0 |

- (注) 株主名簿上は、当社名義株式が126株あり、当該株式は「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式に100株、「単元未満株式」欄に26株含めております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について日之出監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 780,358 | 816,906 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 656,113 | 1 710,917 |
| 商品及び製品 | 160,392 | 204,113 |
| 仕掛品 | 32,659 | 34,398 |
| 原材料及び貯蔵品 | 49,013 | 54,924 |
| 前払費用 | 17,381 | 14,926 |
| 繰延税金資産 | 65,848 | 65,539 |
| その他 | 27,984 | 16,539 |
| 流動資産合計 | 1,789,752 | 1,918,264 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,787,388 | 1,788,759 |
| 減価償却累計額 | 926,509 | 963,072 |
| 建物及び構築物（純額） | 860,879 | 825,687 |
| 土地 | 1,286,541 | 1,286,541 |
| その他 | 2,248,295 | 2,291,202 |
| 減価償却累計額 | 2,080,790 | 2,152,203 |
| その他（純額） | 167,505 | 138,999 |
| 建設仮勘定 | 3,272 | 7,198 |
| 有形固定資産合計 | 2,318,198 | 2,258,426 |
| 無形固定資産 | 14,092 | 6,381 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 72,198 | 98,164 |
| その他 | 136,657 | 133,784 |
| 貸倒引当金 | 8,347 | 9,174 |
| 投資その他の資産合計 | 200,508 | 222,773 |
| 固定資産合計 | 2,532,799 | 2,487,581 |
| 資産合計 | 4,322,551 | 4,405,846 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1 515,288 | 1 500,214 |
| 短期借入金 | 249,016 | 239,266 |
| 1年内償還予定の社債 | 114,000 | 162,000 |
| 未払金 | 31,471 | 43,065 |
| 未払法人税等 | 11,649 | 10,984 |
| その他 | 103,226 | 95,714 |
| 流動負債合計 | 1,024,651 | 1,051,244 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 117,500 | 188,500 |
| 長期借入金 | 248,456 | 146,444 |
| 繰延税金負債 | 468,503 | 462,399 |
| 退職給付引当金 | 170,765 | 182,520 |
| 役員退職慰労引当金 | 99,055 | 103,180 |
| その他 | 19,699 | 17,786 |
| 固定負債合計 | 1,123,978 | 1,100,830 |
| 負債合計 | 2,148,630 | 2,152,075 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 460,421 | 460,421 |
| 資本剰余金 | 380,421 | 380,421 |
| 利益剰余金 | 1,356,160 | 1,365,528 |
| 自己株式 | 56 | 56 |
| 株主資本合計 | 2,196,947 | 2,206,314 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,971 | 3,082 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 495 |
| 為替換算調整勘定 | 21,055 | 44,868 |
| その他の包括利益累計額合計 | 23,026 | 47,455 |
| 純資産合計 | 2,173,920 | 2,253,770 |
| 負債純資産合計 | 4,322,551 | 4,405,846 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 2,810,680 | 2,602,814 |
| 売上原価 | 1,598,078 | 1,432,397 |
| 売上総利益 | 1,212,602 | 1,170,416 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,155,962 | 1,147,606 |
| 営業利益 | 56,640 | 22,810 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,218 | 3,105 |
| 受取配当金 | 549 | 605 |
| 不動産賃貸料 | 6,381 | 6,891 |
| 為替差益 | 12,397 | 1,513 |
| 投資有価証券評価損戻入益 | - | 19,250 |
| 保険解約返戻金 | - | 12,333 |
| その他 | 4,971 | 2,128 |
| 営業外収益合計 | 28,518 | 45,827 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,564 | 7,294 |
| 債権売却損 | 5,136 | 4,841 |
| 不動産賃貸費用 | 2,040 | 2,163 |
| 社債発行費 | 2,019 | 2,119 |
| 投資有価証券評価損 | 4,470 | - |
| その他 | 3,859 | 2,915 |
| 営業外費用合計 | 26,090 | 19,332 |
| 経常利益 | 59,068 | 49,305 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 402 | - |
| 特別損失合計 | 402 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 58,665 | 49,305 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,412 | 12,682 |
| 法人税等調整額 | 67,701 | 7,220 |
| 法人税等合計 | 51,288 | 5,462 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 109,954 | 43,843 |
| 少数株主利益 | - | - |
| 四半期純利益 | 109,954 | 43,843 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 109,954 | 43,843 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 335 | 5,053 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 495 |
| 為替換算調整勘定 | 11,893 | 57,270 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,128 | 8,653 |
| その他の包括利益合計 | 13,357 | 70,482 |
| 四半期包括利益 | 123,312 | 114,325 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 123,312 | 114,325 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【会計方針の変更等】

| |
|---|
| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日) |
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高から除かれております。

| | 前連結会計年度 (平成24年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 18,761千円 | 18,882千円 |
| 支払手形 | 46,802千円 | 29,819千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は次のとおりであります。

| 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日) |
|---|---|
| 減価償却費 125,420千円 | 減価償却費 113,571千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成23年12月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 11,491 | 5 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月26日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 34,475 | 15 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月25日 | 利益剰余金 |

なお、平成24年9月期期末配当(15円00銭)の内訳につきましては、普通配当12円00銭、創立記念配当3円00銭となっております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

当社グループにおいては工業用プラスチック部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 47円84銭 | 19円08銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 109,954 | 43,843 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 109,954 | 43,843 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 2,298 | 2,298 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | | |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | | |
| (うち支払利息(税額相当額控除後)) | | |
| 普通株式増加数(千株) | | |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 1 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式は存在しないため、記載しておりません。

2 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載はしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社ニックス
取締役会 御中

日之出監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 吉村 潤一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 榎 正規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニックスの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニックス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。